

地域の防災リーダー

1月10日、昭北グラウンドで行われた消防出初式。平成27年の新入消防団員40人を代表し、宣誓を行ったのは、**鞆淳二さん**でした。

市内で活躍する消防団員は、628人。普段は自分の仕事を持つ傍ら、災害発生時には消火や警戒活動を行い、地域の防災リーダーとしての役割を担っています。

「家の近所には、消防団員の人が多く、その人たちから消防団の話聞き、初めてその活動を知りました」と鞆さん。

鞆さんの入団のきっかけは、いざというときに家族を守りたいと

の思いからでした。

「消防団はまちの防火や防災の担い手。さまざまな知識や経験ができると考えました。救急救命もその一つ。もし、身近な人が危機にひんした時、とっさに動ける人でありたいと思います」。

第7分団（津田）に所属する鞆さん。育ってきた佐伯に貢献したいとの思いもあったとのこと。

「仕事の都合で訓練に参加できないこともあります。自分なりの関わり方で活動を継続していきたいと思えます。できることから始めて、地域の消防団員の先輩から多くのことを学んでいきたいです」と笑顔で話してくれました。



第7分団第1部3班
鞆淳二さん（津田・31歳）

あなたの力を消防団に

災害時には、各地域の実情に精通した地域住民で構成される消防団員の力が必要とされます。入団資格や活動の内容などは市ホームページ、または消防本部警防課に問い合わせてください。

問合せ 消防本部警防課 ☎9233



育ってきた地域に貢献し、
身近な人を守りたい。

はっかいら人 vol.4

新入消防団員 鞆淳二さん

廿日市市で輝く人を紹介します

編集後記

平成27年度広島県広報コンクールで、広報はっかいち3月号が広報紙部門・市部で、9月号が写真部門・組み写真の部でそれぞれ最優秀賞に選ばれました。これも取材に協力していただく市民の皆さんのおかげです。この場を借りてお礼申し上げます。

これからも暮らしに必要な情報や廿日市を再発見できるような情報、魅力をお届けしていきます。

平井翔太

「人権」は自分と関係のない、遠いものだと感じていませんか。私自身、最近までは仕事の一端として、人権問題を考えていました。

あなたや家族がもし、体を思うように動かせなくなったら。他愛もない言葉が原因でいじめられたら。障がいや国籍など、生まれつき自分ではどうすることもできない事情で差別を受けている人がいるかもしれません。そしてその人は、誰かの大切な人なのです。図書館には、人権に関する本が数多くあります。読書で想像力を鍛え、ひと呼吸置いて、相手の立場で、相手の気持ちを考える。やさしい人間であるために読書は必要なのだと思える機会となりました。

古岡里奈

目の不自由な人のために

■音声読み上げのための「広報はっかいち」テキスト版をホームページに掲載しています。
■「広報はっかいち」のカセットテープ、デジタル図書、点訳本があります。廿日市市社会福祉協議会 ☎0294

発行/廿日市市 〒738-8501 広島県廿日市市下平良一丁目11番1号
☎0829200014 内線 ☎0829201059

編集/分権政策部 広報統計課 広報統計係
ホームページアドレス <http://www.city.hatsukaichi.hiroshima.jp/>
フェイスブックアドレス <http://www.facebook.com/hatsukaichicity>